

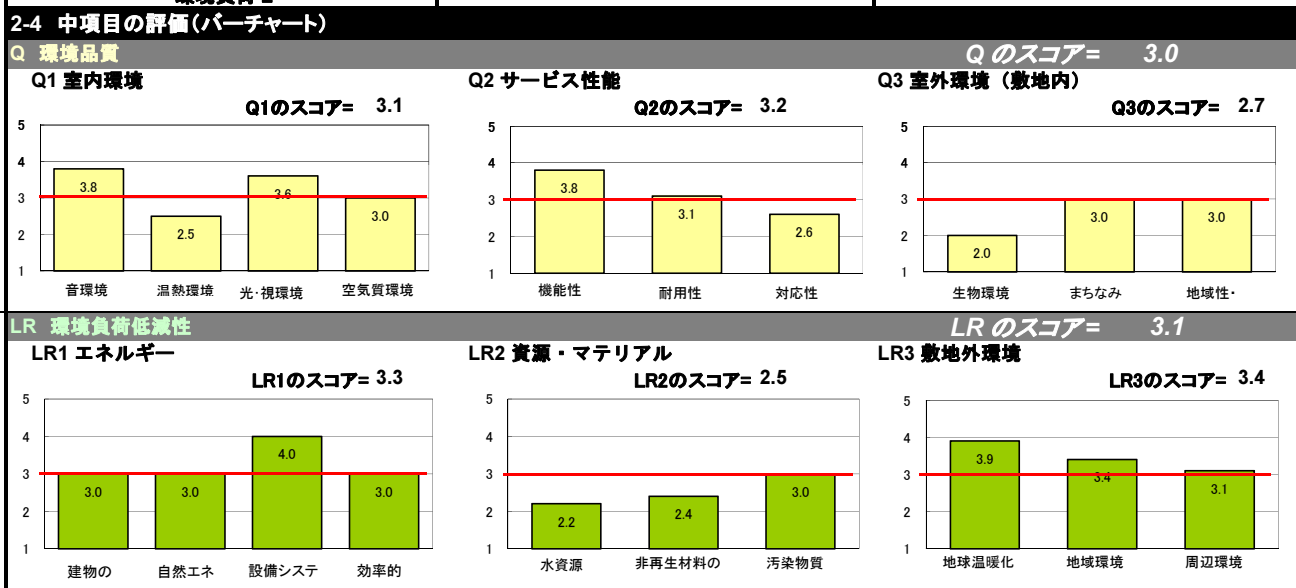
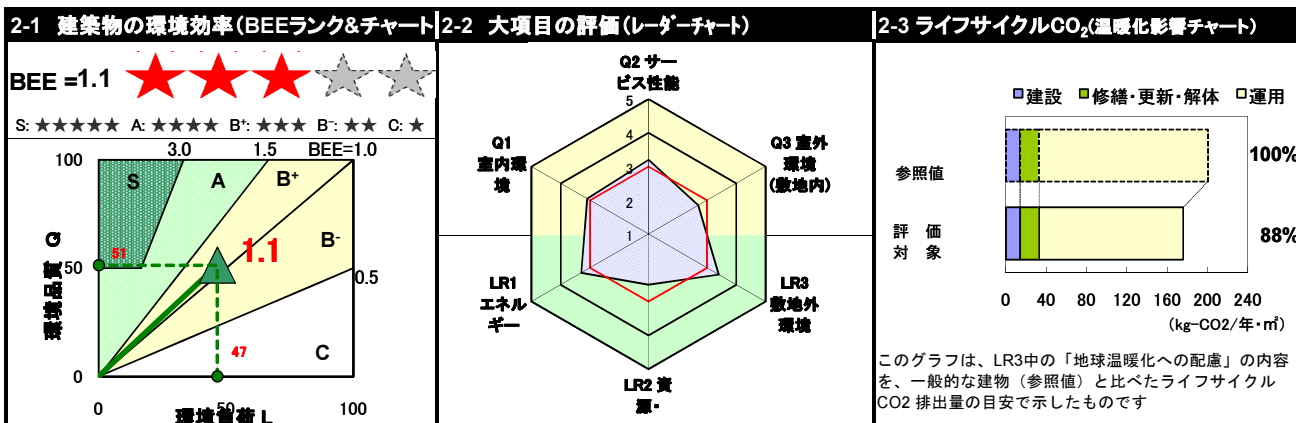


新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)嵐山ホテル 計画	階数	地下1F、地上4F
建設地	京都市西京区嵐山西一川町6-1、他	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、指定なし	平均居住人員	261 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年7月 予定	評価の実施日	2010年5月6日
敷地面積	4,997 m ²	作成者	登録評価員 株式会社TDC 平岡 征晃
建築面積	1,999 m ²	確認日	2010年5月15日
延床面積	6,150 m ²	確認者	登録評価員 株式会社TDC 平岡 征晃



3 設計上の配慮事項		
総合 ・「和テイスト」・「植栽」・「庭」を取入れ、周辺環境を配慮したランドスケープの計画としている。・外壁内断熱及び複層ガラスサッシによる冷暖房負荷の低減と、高い遮音性能による快適なホテル空間及び環境を実現している。		その他 特に無し
Q1 室内環境 ・音環境：開口部の遮音性能T-2以上 ・温熱環境：窓サッシは複層ガラス+ブラインド+底 外壁は吹付硬質ウレタンフォームt25 ・光環境：客室部においては大きく採光を取る計画とした(昼光率8.4) ・空気環境：内装材はF☆☆☆☆	Q2 サービス性能 インテリアベースを用いて内装計画を検討、節水型器具の採用、受水槽2分化、非常用発電機設置、屋外露出部は耐久性の高いステンレス鋼を採用	Q3 室外環境(敷地内) 外構を緑化し、空地率を高くし風通しのよい敷地としている。又日陰となる部分を作ることや透水性の高い舗装材を使用し敷地内の暑熱環境を緩和している。
LR1 エネルギー 外皮に断熱材を施工、複層ガラスを採用することにより建物熱負荷の軽減を図っている。高効率照明器具を採用し消費電力の低減を図っている。	LR2 資源・マテリアル 節水型衛生器具を採用し、水資源を節約する計画としている。	LR3 敷地外環境 外構を積極的に緑化、日陰の生成、屋上緑化、透水性の高い舗装材の採用等により敷地外への温熱環境に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される